



地域で育ち地域で生きる

学校教育課長 遠藤 宗男

学校を訪問すると、強い日差しに負けない元気な小学生の声がプールから聞こえてきます。また、放課後の中学校では、中体連に向けた最後の仕上げに力が入り、部活動に臨む生徒の真剣な表情が目飛び込んできます。学期末を迎え、各学校で生き生きとした子どもの表れが見られることを、うれしく感じています。

さて、沼津市教育委員会が取り組む小中一貫教育は研究の2年目を迎えました。義務教育9年間で身に付けさせたい資質・能力を小中学校で共有し、中学校卒業時の姿を目標に全ての教育活動を価値付けていく取組が各中学校区で進んでいます。

そこで描かれる目指す姿は、学校だけで決められるものではなく、中学校区内の保護者や地域の皆さんの願いであり、地域社会との連携を抜きに考えることはできません。

子どもや学校の抱える課題の解決や未来を担う子どもの豊かな成長のためには、地域住民総掛かりでの教育の実現が不可欠です。学校・保護者・地域の皆さんが、子どもたちへの教育の当事者となり、地域の子どもの見守り、積極的に声を掛け、その成長を支えるチームでありたいと願っています。

学校では、小中一貫教育を念頭に置いた授業実践を進めることは勿論ですが、地域との関わりを大切に活動も各中学校区で盛んになってきています。同一中学校区内の小中学校で一斉に地震・津波避難訓練を実施したり、小学校の参観日・PTA総会で、中学生が小学生の世話や未就学児の託児ボランティアとして本の読み聞かせやお絵かきの見守りを行ったりするなど、様々な活動が行われています。

このように、子どもが自分の住む地域に関心を高め、進んで何かしらの関わりや役割を持つことは、そこに暮らす皆さんとの接点を創るとともに、子ども自身に地域の一員であるという自覚を高めることとなり、子どもの自己肯定感や自己有用感を高めることにもつながると思います。そのことにより、地域が子どもにとって安心できる居場所となることも期待できます。

子どもの健やかな成長に向け、学校と地域がよきパートナーとして、連携を深めていけるよう関係の皆様のお理解と御協力をお願いいたします。

先人に学ぶ

沼津市立浮島中学校長 田村 昭

私事ですが、数年前の冬、大河ドラマ「花燃ゆ」に触発されて、二泊三日の旅程で山口県に行ってきました。秋芳洞、金子みすゞゆかりの仙崎、乃木希典や高杉晋作ゆかりの長府、下関、門司など、いろいろな場所を観光しました。

訪れた先々で、それぞれ印象に残ることがあったわけですが、中でも特に心に残ったのは萩の町でした。ご存じのとおり、萩



は明治維新に尽力した木戸孝允、高杉晋作、伊藤博文など多くの人を輩出した町です。そして何より、その彼らを教育した吉田松陰ゆかりの地です。旅先で松陰にまつわるこんなエピソードを聞きました。要約すると、

「密航が露見し牢獄に繋がれた時のこと。牢内には松陰を含め泥棒や悪党など11名がいた。皆、暗くじめじめした牢内で絶望し、自暴自棄になっていた。そんな彼らに松陰は積極的に話しかける。最初は誰一人まともに聞かない。しかし、狭い牢内、嫌でも声は聞こえてくる。いつしか全員が耳を傾けるようになり、感化されていった。松陰は『皆さんは獄中で死ぬような小さな人間ではない。必死に学問に励み、徳を積み重ねれば、必ず大事を成し遂げられる』と断言する。囚人達の向学心に火がつき、皆が学問に励むようになった。すると松陰は『あなたには俳句の才能がある』『あなたの文字は美しい』などと一人一人の特技を見だし、自らその囚人を師と仰ぎ学び始める。こうして監獄は学校に変じ、さらには監視する獄吏までもが松陰に弟子入りした。その後釈放された松陰は松下村塾を叔父から引き継ぐ。松陰は入塾したい者を拒まなかった。松陰の人材育成法は、ひたすら塾生個々の良さを見つけ、それを本人に告げることだった。また松陰は門弟に常に丁寧につき、一度も怒ったことなどなかった。必ず門弟を『あなた』といい、呼び捨てすることもなかった。塾に来なくなった者がいると、愛情のこもった手紙を送り、来塾を促した。どんな身分、年齢であろうと、決して見捨てたり、切り捨てたりしなかった。」

いかがでしょうか？ 時代が異なるとは言え、すごい話です。特に、「あきらめず働きかけること」「人をその気にさせること」「人それぞれのよさを認め、それを自覚させること」「個々の人格を尊重し、深い愛情をもって接すること」などは、現代の子育てや教育にも通じることだと強く感じたエピソードでした。

面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など
 青少年に関する面接相談
 ◎相談および申し込み受付時間：
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎相談申し込み：Tel.951-3440

2019年4・5・6月の状況

各月の新規の相談件数、相談ケース数、相談回数は以下のとおりでした。

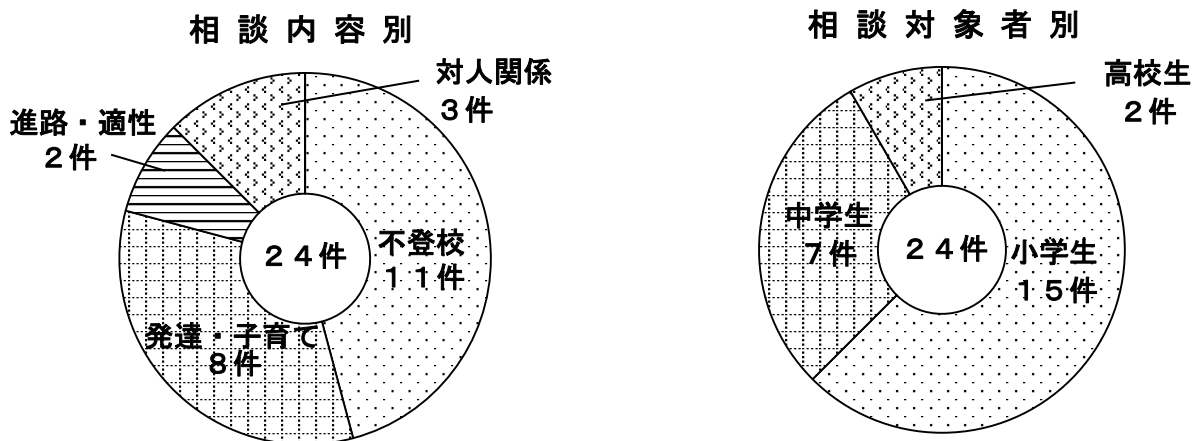
1 各月の新規相談件数（相談内容別）

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
4月	0	1	0	0	1	0	2
5月	0	4	2	1	0	0	7
6月	0	6	6	1	2	0	15

2 各月の新規相談件数（相談対象者別）

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
4月	0	1	0	1	0	0	2
5月	0	5	2	0	0	0	7
6月	0	9	5	1	0	0	15

3 今年度の新規相談受付状況



4 4月から6月までの相談ケース数

※年度における相談者1人を相談1ケースとする

	非行	不登校	離・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
男	0	19	14	4	2	0	39
女	0	14	6	4	2	0	26
合計	0	33	20	8	4	0	65

5 4月から6月までの延べ相談回数

	面接	訪問	合計
男	247	0	247
女	117	0	117
合計	364	0	364

6 はばたき活動の様子

5/8(水) いっしょに遊ぼう(2人)

5/21(火) 北消防署見学
(大雨警報のため中止)

6/5(水) びゅうお見学(4人)

6/27(木) 静浦漁協釣り
(雨天のため7/3に延期)

4月は年度初めだったので「ミニはばたき」という形で、担当と数人で一緒に活動をしました。5～6月は月2回のペースではばたき活動を計画しましたが、天気の関係で2回しか実施できませんでした。

また、はばたき活動ではありませんが、センターの行事として、6/6(木)と6/19(水)に3校の高校見学を実施しました。2日間で延べ9組の親子が参加をし、進路について考える機会になりました。



今年度もこのような形で、仲間や社会と関わりをもてるような活動を行っていきます。

7 相談指導学級の様子

今年度のスタートは通級者1人でしたが、3人が加わり、現在総勢4人(全員中学2年生)で活動しています。基本的に月曜日から金曜日までの午前10時から午後3時まで開級し、その中で、45分間の活動を1コマとし、午前午後それぞれ2コマずつを学習活動の時間に設定しています。内容は、英語や数学等、自分で立てた計画で進める学習に加え、スポーツ活動、調理体験、ハイキングなども週計画で実施しています。また、1日の生活の中にふれあいタイムを設け、おしゃべりをしたり、カードゲームをしたりしながら互いにコミュニケーションが取れるように配慮しています。

各種体験活動は毎週木曜日に設定し、5月には「たこ焼き・混ぜご飯」、6月には「手打ちうどん」



を調理体験で作りました。スーパーマーケットでの買い出しから調理や片付けまで自分たちで行い、昼食時には笑顔があふれました。屋外活動としては、ハイキングや農園での作業を行いました。どの活動も、充実感・達成感等が十分味わえるものとなりました。

これからも面接相談担当と連携し、子どもたちの自立を促していきます。

電話相談

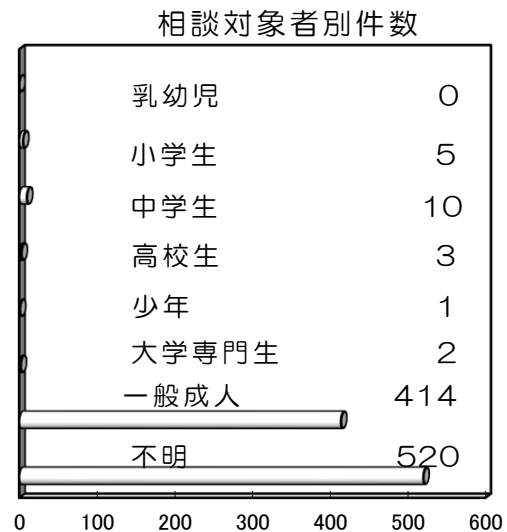
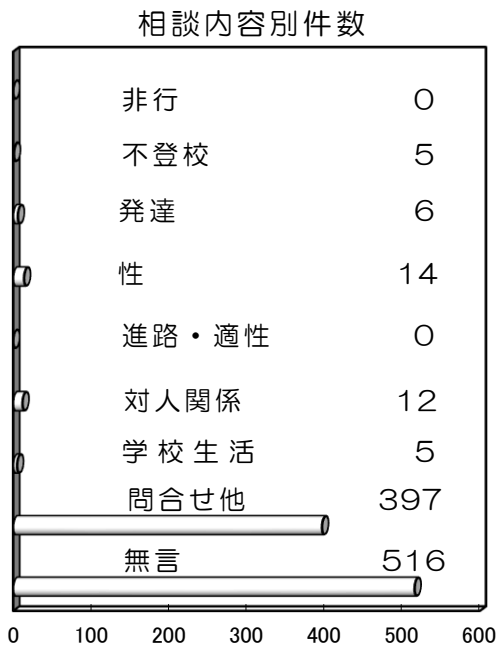


◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。
 ◎相談時間：
 午前10時～午後7時 月～金曜日(祝祭日を除く)
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

2019年4・5・6月の状況

4月には385件、5月には216件、6月には354件の相談が寄せられました。
 (前年4月：430件、前年5月：500件、前年6月：476件)

1 4・5・6月の相談状況



2 令和元年度の電話相談受信件数状況

総件数 955件 (前年同期1,406件)

(1) 相談内容別

	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言
件数	0	5	6	14	0	12	5	397	516

(2) 相談対象者別

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	0	5	10	3	1	2	414	520

◎◎補導の目◎◎



補導委員としての思い

女性補導委員 小針 千絵美

補導活動を始めて10年目となりました。始めたときは母親補導委員として火曜日の午後、今は女性補導委員として月曜日の午前中に巡回しています。何も資格も持たない私がどのように声掛けをしたらよいのか不安でしたが、補導することよりも補導委員が巡回し、見守っていることを知ってもらい、非行行為の抑止力となればよいと聞きほっとしました。月曜日の午前中は街頭で子どもたちを見かけることはあまりありませんが、学校行事の代休日には数人と出会うことがあります。怖がらせないようにこやかに声を掛けます。こちらが笑顔で話し掛ければ、子どもたちも安心して笑顔で答えてくれます。

実は私が社会人になったばかりの頃、夜7時過ぎにバッティングセンターでいきなり「あなたは何年生なの？」と腕章をした補導員に声を掛けられ、頭の中が真っ白になり、私は何年生なのかしらとどきどきしたことがあります。声掛けはやっぱり笑顔が大切ですよね。近頃の女の子は私服を着てメイクをしていると、本当に何歳なのか分かりません。私も声を掛ける時には相手が子どもであっても失礼のないように心掛けています。

今の世の中、残念ですがよい大人ばかりではありません。甘い言葉でいつの間にか犯罪に巻き込まれてしまうかもしれません。そんな大人が沼津の街では子どもたちに声を掛けたりできないようにするためにも私たちは巡回しています。少し大げさでしょうか。これからも、子どもたちが安心して生活できる街になるよう、少しでもお役に立てば幸いです。



1 少年補導委員の延べ参加人数（4・5・6月）

	市職員	教員	女性補導委員	母親補導委員	地区代表補導委員	警察	地区補導委員	総数
4月	5	0	4	0	10	0	233	252
5月	6	14	0	0	0	0	280	300
6月	14	16	9	3	10	0	223	275

2 補導回数・補導状況（4・5・6月）

	補導回数				行為に対する注意・指導	愛の声かけ	法令違反・ぐ犯行為に関する連絡※	
	午前	午後	夜間	計			家庭・学校等	他機関
4月	1	10	29	40	5	262	0	0
5月	0	8	31	39	104	195	0	0
6月	2	10	31	43	62	224	0	0

3 補導活動（今年度6月までの累計） ※ ぐ犯……将来、犯罪に発展するおそれのある行為

補導回数	延べ参加補導委員数	行為に対する注意・指導	愛の声かけ	法令違反・ぐ犯行為に関する連絡※	
				家庭・学校等	他機関
122	827	171	681	0	0

※ 平成31年度「たより」4月号における「平成30年度補導活動累計」を、右のように訂正させていただきます。

	(誤)	(正)
・補導回数	619	→ 620
・延べ参加補導委員数	4,006	→ 4,010
・注意・指導、愛の声かけ	2,313	→ 2,326

4 4・5・6月の街頭補導少年の学職別状況（中央・地区別補導）

本ページでは、下表にあるように補導中の「行為に対する注意・指導」及び「愛の声かけ運動」の件数をお知らせしていきます。

また、法令違反・ぐ犯行為が認められた際に家庭・学校等及び他機関へ連絡した件数も掲載していきます。



区分		学職別	性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	累四月から計の
行為 種 別	飲 酒	男								0	0
		女								0	0
	喫 煙	男								0	0
		女								0	0
	薬 物 乱 用	男								0	0
		女								0	0
	夜 間 は い か い	男				9				9	9
		女				6	1			7	7
	不 良 交 友	男								0	0
		女								0	0
	怠 学 ・ 怠 業	男								0	0
		女								0	0
	ゲームセンター入場	男		1	13	45				59	59
		女		5	13	56				74	74
	パチンコ店入場	男								0	0
女									0	0	
カラオケ店入場	男				1				1	1	
	女				3				3	3	
自転車の暴走行為	男								0	0	
	女								0	0	
自転車の二人乗り	男						1		1	1	
	女						1		1	1	
自転車の無灯火	男				9				9	9	
	女								0	0	
危 険 な 遊 び	男								0	0	
	女								0	0	
そ の 他	男				6				6	6	
	女				1				1	1	
計		男	1	13	70	1	0	0	85	85	
		女	5	13	66	2	0	0	86	86	
男 女 合 計			6	26	136	3	0	0	171	171	

法令違反・ ぐ犯行為 に関する 連絡※	家庭・学校等	男							0	0
	他 機 関	女							0	0
		男							0	0
		女							0	0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

※ ぐ犯…将来、犯罪に発展するおそれのある行為

愛の声かけ運動	男	165	55	162	7			389	389
	女	111	39	137	5			292	292
男 女 合 計			276	94	299	12	0	681	681

「補導活動の担当となって」

青少年教育センターの補導担当となって3か月、補導委員の方々の熱心な活動に感謝の毎日です。「補導」は、「教育相談」と共に、当センターの二本柱となる重要な活動で、「中央補導」と「地区補導」とに分けられます。「中央補導」は、地域・教員・母親・女性の補導委員が20班に分かれ、担当日に駅周辺の施設を回ります。「地区補導」は、各地区の計画に従い、地区補導委員がそれぞれの地区の店舗や公園等を回ります。昨年度は620回の補導で、延べ4010人の補導委員の方々が市内のあちらこちらで活動してくださいました。加えて、年2回の県内一斉補導や沼津夏まつり補導、高尾山祭典補導もあり、まさに多くの力が青少年を支えていると言ってよいと思います。

補導委員はボランティアであるにもかかわらず、2年以上続けてくださっている方がたくさんいらっしゃいます。中には10年以上という経験者もあり、青少年を支えよう・守ろうという姿勢や気持ちに、本当に頭が下がります。ベテランの方々の声掛けの様子は、とても参考になります。特に女性・母親の方々は、いつも温かな笑顔で、優しく、ごく自然な声掛けをしています。その方々の心の中には、「悪いことをしている子供たちを注意する」「捕まえて指導する」というような気持ちは一欠片もないのでしょうか。妙に肩に力が入り過ぎたり、声を掛けるタイミングが悪かったり、時には威圧的になってしまったりする私とは雲泥の差があります。

補導活動の原則は、青少年の健全育成の手助けとなることです。私も、今まで以上に「青少年全員を温かく見守る人」という意識を強く持って、誰に対しても積極的に声掛けを行っていきたいと思います。補導委員の皆様、青少年を支え守るため、これからもどうぞよろしくお願いいたします。子供たちが、「声を掛けられてよかったな」と思うような活動をしていきましょう。

青少年教育センターの活動予定（9・10月の主な活動） ※8月は活動予定なし ※天候による変更あり

相談指導学級体験活動		はばたき活動	
9月5日(木)	ハイキング(白糸の滝)	9月11日(水)	源兵衛川探検
12日(木)	調理体験	25日(水)	チャレラン大会
19日(木)	創作活動	10月9日(水)	「牛乳パックでホットドック」
26日(木)	農園体験	30日(水)	富士山世界遺産センター見学
10月3日(木)	調理体験	補導関係	
10日(木)	創作活動	9月20日(金)	補導委員会代表者会③
17日(木)	ハイキング		
24日(木)	調理体験		

明るい子どもが育つまち

青少年健全育成

青少年健全育成都市宣言（昭和55年）

シンボルマーク



あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート（心）を表しています。